

日本平動物園には、2頭のボルネオオランウータンが暮らしています。

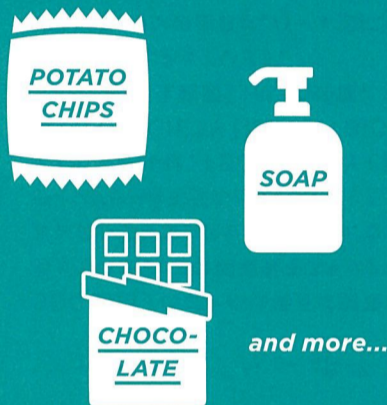
名前は、ジュンとミンピー。

身近に感じられるオランウータンですが、実は絶滅の危機に瀕していることをご存知でしょうか。

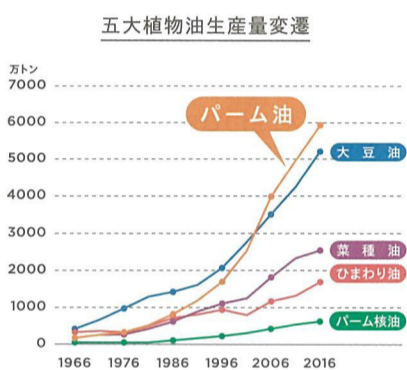


オランウータンは、絶滅危惧種の中でも、近絶滅種(絶滅寸前)に分類されています。住む場所がなくなっているのです。

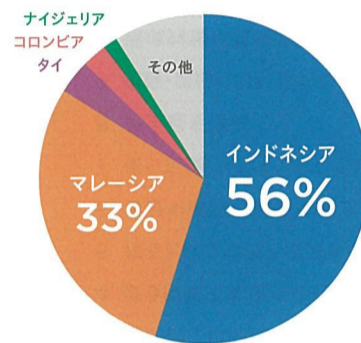
絶滅の危機に瀕しているオランウータンの状況は、私たちの生活と深くかかわっています。



私たちが日常的に消費しているお菓子や洗剤などのパッケージ。成分表示欄に、「植物油」と書かれているのを見たことがあるでしょうか。さまざまな製品に使われている植物油の中でも、近年大幅に生産量が拡大しているのが「パーム油」です。



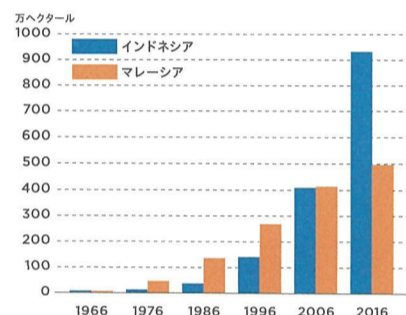
パームの国別油生産量(2017)



パーム油の主な生産国は、インドネシアとマレーシア。野生のオランウータンの生息地です。

パーム油の原料は、アブラヤシの実です。インドネシアとマレーシアでは、アブラヤシの農園が急速に増えました。アブラヤシを植林するために、オランウータンなど野生動物が住む森林が、おそろしい速度で破壊されているのです。

アブラヤシ栽培面積変遷



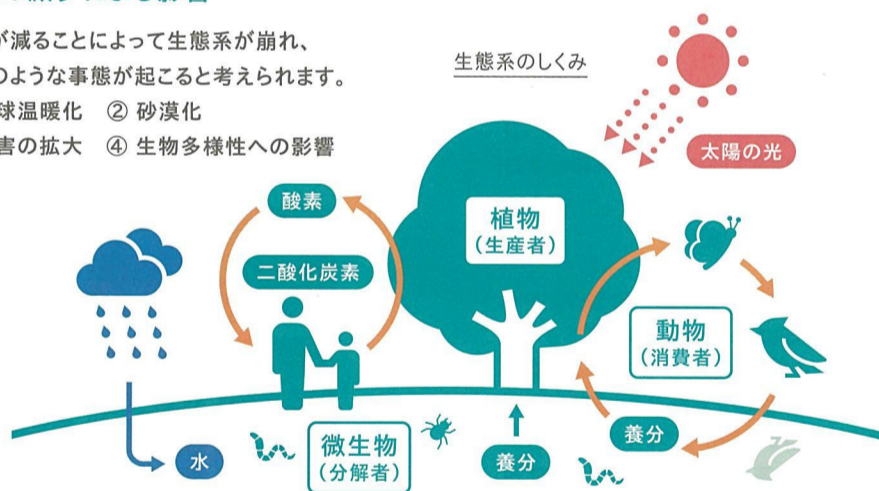
スマトラ島のオランウータンが住む森は、1985~2007年の間に60%が消失しました。



森林の減少による影響

森林が減ることによって生態系が崩れ、下記のような事態が起こると考えられます。

- ① 地球温暖化 ② 砂漠化
- ③ 災害の拡大 ④ 生物多様性への影響



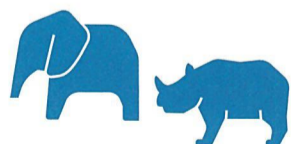
- ① 地球温暖化 森林は光合成により大気中の二酸化炭素を吸収している。そのため、森林の減少は地球温暖化に大きな影響を与えている可能性がある。
- ② 砂漠化 樹木は水分を土壌に蓄える働きをするので、樹木が無くなると土壌が乾燥し砂漠化しやすくなる。
- ③ 災害の拡大 樹木は根で土壌を支える働きを持つ。森林が減少することで、山崩れなどの災害が起こりやすくなる。
- ④ 生物多様性への影響 森林の減少は、そこに住む野生生物の生態系を破壊してしまう。また、有用な薬用植物などの遺伝子資源の損失も心配されている。

絶滅が心配されている野生生物

日本平動物園には、オランウータン以外にも絶滅危惧種が暮らしています。



※日本平動物園で飼育されている絶滅危惧種の一部



ボルネオ島やスマトラ島の森林には、オランウータンの他にもゾウ、サイなどの稀少な動物たちをはじめ、多くの動物や植物が生きています。



森の中で暮らしていた先住民の人々も住むところを失うケースもあります。また、農園で働く人の児童労働や強制労働も問題となっています。



2019年9月、ボルネオ島やスマトラ島で熱帯雨林や泥炭地の深刻な火災が発生しました。火災の原因は、主に農地の開発を目的とした「火入れ」です。



火災の煙霧により、周辺の国でも深刻な健康被害が拡大しているほか、学校や公共機関なども一時閉鎖されたという報告もあります。

私たちにできることは何でしょうか？

単純にパーム油を使わないということでは問題は解決できません。

現時点でパーム油は、生産性の高い植物油です。他の作物で今のパーム油に匹敵する量の油を取ろうとすると、現在のアブラヤシの農園よりも広大な土地が必要となります。環境と地域社会に配慮した「持続可能なパーム油」の生産と利用を考え、行動にすることです。具体的には、「RSPO認証」を取得したパーム油を使った製品を、スーパーなどのお店で選ぶことなどが考えられます。

RSPO認証について(英語)
<https://www.rspo.org>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals: 世界を変えるための17の目標)とは、国連に加盟するすべての国は、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための17の目標をかかげ、その達成に向けて力を尽くしています。

SDGsについて、さらに詳しい情報はこちらをご覧ください。
 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所Webサイト『持続可能な開発目標』



MDGsからSDGsへ

MDGs (Millennium Development Goals: ミレニアム開発目標) は、極度の貧困と飢餓の撲滅など、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げ、達成期限となる2015年までに一定の成果をあげました。その成果を土台として、気候変動や経済的不平等、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込み、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。日本においても、国全体で取り組むべき目標とされており、静岡市でも市民や企業、団体などが連携し、取り組んでいます。

動物園に行くことも、「15 陸の豊かさを守ろう」につながります。

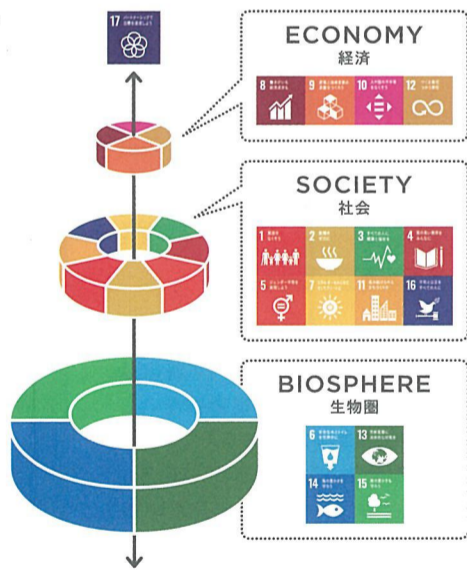
日本平動物園は、「いのちを感じ、次世代へつなぐ動物園」を基本理念に、環境問題や生物多様性の重要性に気づき考えるための身近なフィールドです。人と野生をつなぐ扉を開けてみませんか。

静岡市立日本平動物園Webサイト



ウェディングケーキモデル

SDGsの17のゴールは相互に関連しあっています。この関連性をストックホルムのレジリエンスセンターでは、ウェディングケーキモデルとして示しました。17のゴールは、「ECONOMY (経済)」、「SOCIETY (社会)」、「BIOSPHERE (生物圏)」の3つの層にお互いに関連しあっています。オランウータンの生息は、パーム油に関わる生産と消費(ゴール12など)に深く関わっていますが、さらにその背景にある人々の生活(ゴール8など)の状況も私たちは考える必要があります。私たちの価値観、そして行動の変容が「誰ひとり取り残さない」世界の実現につながります。



生活を振り返ってみましょう!

- 1. 必要なものだけを買うようにしている
- 2. できるだけ、容器は再使用できるものを選ぶ
- 3. 使い捨ての商品は避け、出来るだけ長く使えるものを選ぶ
- 4. 使う段階で環境への影響が少ないものを選ぶようにしている
- 5. 作るときに環境を汚さない、作る人の健康を損なわないものを選ぶようにしている
- 6. 自分や家族の健康や安全を損なわないものを選ぶ
- 7. 使った後、リサイクルできるものを選ぶ
- 8. 再生品を選ぶ
- 9. 生産・流通・使用・排気の各段階で資源やエネルギーを浪費しないものを選ぶようにしている
- 10. 環境対策に積極的なお店やメーカーを選ぶようにしている

一つでもチェックできた人は、すでにSDGsの実践者です。
 一人一人の価値観と行動が世界を変える。未来を変える。
 Think Globally, Act Locally.

No one
 will be
 left behind

動物と一緒に地球の未来を考えよう

PILOT Ver.
 パイロット版

“誰ひとり取り残さない”

発行 静岡市・静岡大学田宮研究室

REFERENCES

『2018パーム油白書』認定特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン
 『ナショナルジオグラフィック別冊7 100年後も見たい動物園で会える絶滅危惧動物』
 日経ナショナルジオグラフィック
 『How food connects all the SDGs』Stockholm Resilience Centre Webサイト
<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>